



やかた

大部小だより

10月特別号

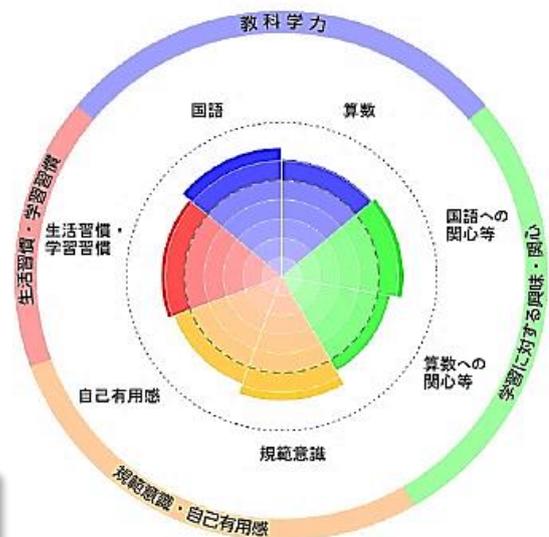
「やさしく かしこく たくましく」

文責：学校長

令和6年度全国学力・学習状況調査結果より

4月18日（木）に全国の小学6年生を対象に、国語・算数の学力調査及び学習・生活状況調査が実施されました。本校の分析結果の概要をお知らせいたします。

右のチャートをご覧ください。内側の点線が全国基準を示しているのですが、「教科学力」「生活習慣・学習習慣」「規範意識・自己有用感」「学習に対する興味・関心」すべてにおいて全国基準を上回っており、良好な状況でした。



国語・算数の学力調査結果から

国語

☆「知識・技能」「思考・判断・表現」のすべての内容項目において、全国の平均正答率を上回っており、大変良好な結果でした。特に「書くこと」領域（記述式問題）の正答率が高くなりました。これは、本校が長年取り組んできている「『書くこと』を大切にした国語授業づくり」の成果が表れています。

★「話すこと」に関する設問での正答率が低くなっているため、すべての学年において「話すこと」単元の系統的な指導を行い、話す力の育成を意識した授業を行っていきます。

算数

☆全般的に全国の平均正答率を上回っており、良好な結果でした。基礎・基本を重視した授業やおの検定など、基礎的な力をつけるための取組を積み重ねてきたことがこの結果に表れていると考えられます。また、本校が取り組んでいる「ふきだし法」（子どものひらめきや疑問、分かったことなどを可視化・共有化する学習スタイル）の積み重ねによって、数量の関係性を理解したり必要な情報を抽出したりする力が着実に身につけてきています。



★「道のりが等しい場合の速さについて、時間をもとに判断して、その理由を言葉や数を用いて記述する問題」についての正答率が低くなっていました。問題から答えを「見当づける」力、そして「実生活と結び付けて考える」力を育む算数授業を構築していきます。



他にも、高学年から導入している教科担任制（国語・算数）による学習指導の深化・充実や、学期に1回全校で行っている「ノート検定」の取組による学びの足あとが見えるノートづくり等が、この良好な結果の要因になっていると考えられます。また、マイチャレ（家庭自主学习）に主体的に取り組む習慣が身につき、個に応じた学びが積み重ねられるようになったことも、この結果につながっています。

学習・生活状況調査から

学習状況に関する質問

以下の項目について、本校6年児童の95%以上が、肯定的な回答をしています。

※数値は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計 (%)	本校	全国
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれると思いますか	100	88
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	95	92
国語の勉強は大切だと思いますか	100	95
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	100	93
国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理していますか	96	78
国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えていますか	95	80
国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いていますか	98	83
国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか	95	84
算数の勉強は大切だと思いますか	96	95
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	96	94

※数値は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計 (%)	本校	全国
算数の問題で解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	96	83
算数の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか	95	85
理科の勉強は好きですか	98	84
自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持った り問題を見いだしたりすることがあります	98	83
英語の勉強は大切だと思いますか	98	92
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合っ たりする活動に取り組んでいますか	96	88
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、 互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	98	84
学級活動における学級の話し合いを生かして、今、自分がすべきことを 決めて取り組んでいますか	96	83

☆各教科、道徳、学活に関するこれだけ多くの質問に対して、本校6年生の多くの児童が肯定的な回答をしています。ここから、子どもたちの「学びに向かう力・人間力」の高さが見えてきます。また、仲間とともに対話的・協働的に学んでいこうとする意識が高まっているように感じます。この主体的な学びの姿勢が、学力調査の好結果にもつながっていると考えられます。



生活状況に関する質問

【健やかな脳の発達】

7月学校だよりでもお知らせしました通り、脳を健やかに発達させるためには、「規則正しい生活リズムや朝食（早寝・早起き・朝ご飯）」「スマホやゲームの適切な使用」「紙読書」が重要です。これらの点に関する質問への回答結果は以下の通りです。

※数値は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計 (%)	本校	全国
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	87	83
毎日、同じくらいの時刻に起きている	95	92
朝食を毎日食べている	95	94

☆どの項目も肯定的な回答の割合が高くなっていますが、寝る時刻については他に比べて低くなっています。小学生の望ましい睡眠時間は「9時間～11時間」とされています。この時間をしっかりと確保するとともに、毎日同じリズムで寝ることが睡眠の質を高めることにもつながります。今後も学校と家庭が連携を取りながら、子どもたちの規則正しい生活リズムの定着を図っていきます。



※数値は、「使用1時間以内」 (%)	本校	全国
普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか	50	26
普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしていますか	76	49

☆全国平均を大きく上回っているとはいえ、「1日1時間以内」というルールを守れている割合は高くありません。2時間以上テレビゲームをしている子が10%近くいます。中には、4時間以上携帯電話やスマートフォンを使用している子もいます。ゲームやスマホの過度の使用は、子どもたちの脳に悪影響を及ぼすといわれています。「1日1時間以内」「夜9時まで」というルールを再度確認する必要があります。

	本校	全国
あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか。 ※数値は、「101冊以上」 (%)	33	32
新聞を読んでいますか ※数値は、「週に1回以上」 (%)	24	12

☆デジタル化が進んでいること、新聞購読をされていない家庭もあることから、「紙の文字を読む」機会が少なくなっていることが分かります。本校「朝のいきいきタイム」での読書や「家族でど9しよ(読書)」の取組をさらに推進し、読書習慣の定着を図っていきます。



【心の成長（自己肯定感・ウェルビーイング・夢や目標 等）】

※数値は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計 (%)	本校	全国
自分には良いところがあると思いますか	94	84
先生は、あなたのよいところを認めてくれると思いますか	96	90
人が困っているときは、進んで助けていますか	96	93
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	98	97
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	<u>100</u>	96
学校に行くのは楽しいと思いますか	98	85
友達関係に満足していますか	<u>100</u>	91
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがどれくらいありますか ※「よくある」「ときどきある」の合計 (%)	<u>100</u>	92
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	96	84

☆これらの項目において、肯定的な回答の割合が高くなっています。学校や家庭、地域の中で心豊かな子どもたちが育っています。ただ、肯定的な回答することができなかった子どもたちがいることを見逃してはいけません。一人ひとりに寄り添い、優しく丁寧に関わり合いながら、子どもたちの健やかな心の成長を育てていきます。



今回の結果から、生活や心の基盤が安定していると、子どもたちが本来持っている力がどんどん伸びていくことが分かりました。これからも、子どもたちの健やかな成長のために、ご家庭と連携を取りながら教育活動を推進していきたいと思っております。今後とも、よろしくお願いいたします。